

第一部 蒔絵と螺鈿の基本

第二部 ハンドリング作品の技法解説

<概要>

第一部 蒔絵と螺鈿の基本

<0>言葉の定義

<1>蒔絵の素材について 漆・金属・貝

<2>日本における漆芸技術発展の歴史

- ①漆塗（縄文時代）
- ②螺鈿（飛鳥奈良時代）
- ③蒔絵（平安時代）
- ④技術と製造量のピーク、庶民に普及（江戸時代）

<3>漆芸の技法

- ①塗り（平滑な塗りと 変わり塗り）
- ②螺鈿（厚貝螺鈿 と 薄貝螺鈿）
- ③蒔絵（研ぎ出し蒔絵 と 平蒔絵 と 高蒔絵）

第二部 ハンドリング作品の技法解説

<A>「藤田君代コレクション」KF-04 覆輪変わり塗 櫛

<B>「藤田君代コレクション」KF-08 雪輪蒔絵櫛・笄

<C>（第13回）明治後期 新橋型 扇面図 櫛・笄

<D>（第16回）大正・昭和初期 ベっ甲 折れ松葉に松ぼっくり図 櫛

以上